

■ I-5 英語科

(1) 英語科の目標 (6年後の目標としてこんな生徒を目指しましょう)

- ① 創造的で実践的な英語の力を身に付けた、表現力豊かな生徒
- ② 言語学習の特徴を理解し、自主的に英語学習に取り組む生徒
- ③ 積極的にコミュニケーションを図り、地球市民として世界の人々と交流を深めようとする生徒



(2) 各学習ステージの到達目標 (大きなめやすにしよう)

ステージ	目 標	そ の 他
基礎期	○ 英語の学習方法を工夫し、自主的な学習習慣を身に付けることができる。 ○ 英語の日記を書いたり、将来の夢や計画について発表したりすることができる。(100語程度の日記を書くことができる)	英検4級を取ろう 英検3級に挑戦しよう
充実期	○ 一人一人が自分なりの学習方法をもち、積極的にコミュニケーションを図ることで、実践的なコミュニケーション能力を高めようとする態度を身に付ける。 ○ 幅広い話題について、情報や考えを整理して効果的に伝えたり、話し合ったりすることができる。(200語以上のスピーチ原稿や作文を書くことができる)	英検準2級を取ろう 英検2級に挑戦しよう
発展期	○ 英語をコミュニケーションの道具として、英語を通して人々や文化の交流を深めたり、将来の夢を実現させたりするために使うことができる。 ○ 海外のインターネットや洋書、新聞などから収集した情報を基に、英語でエッセイや小論文を書いたり、ディスカッションをしたりすることができる。(トピックセンテンスやパラグラフの構成を考えた文章を書くことができる)	英検2級を取ろう 英検準1級に挑戦しよう

(3) 学習のすすめ方 (言葉の学習の特徴を理解しよう)

① 授業のポイント

- ア 素直に・どん欲に**  
授業中の活動に素直に取り組み、「このくらいでいいや」ではなく、どん欲に英語を使ってみようとする人は伸びます。真剣勝負の場としての授業を大切にしてください。
- イ 声を出す**  
どのレベルにあっても、はっきりと大きく声を出して練習できる人、音読に継続的に取り組める人、先生・友人との英語の会話で意思表示をはっきりできる人は伸びます。
- ウ まねる**  
英語学習の最初の段階で特に大切なのは、「まねる」ことです。先生や友人をまねてやってみようという姿勢を身に付けた人は伸びます。

② 家庭学習のポイント

- ア 自主学習ノート**  
2ヶ月に1冊は終わりにできるように、頑張りましょう。この「自主学習ノート」は、学習のしかたを試行錯誤し、やがて自分なりの学習方法の工夫を見つけ、最後は自分なりの学習方法や学習習慣を確立することが目的です。
- イ 音読・基礎英語・洋書講読**  
全員が購入する教科書準拠のCDを聞き、音読をしたり、ラジオ講座を聞いたりしましょう。また、マルチメディア・ライブラリーの洋書を借りて積極的に読みましょう。

(4) その他 (自分の学習の成果を知り、次の目標を立てるために)

- ① 年4回の定期考査、3~4回の学力テストの他に、音読テストやスピーチコンテストがあります。
- ② 2年生から英語能力測定試験 (GTEC) を全員受験します。
- ③ 各種検定試験 (英語能力検定試験、TOEIC Bridge、TOEFLなど) に積極的に挑戦しましょう。

(5) 英語科学習全体計画

※各学習ステージの( )内は、全員が学習する科目の合計単位数を表す。

学習ステージ 学 年	基 礎 期		充 実 期		発 展 期	
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
学習の重点	<英語に慣れる> <言語学習の仕方を学ぶ>		<文法や音声表現の充実> <自己表現力を身に付ける>		<創造的・実践的な言語使用> <日本の文化を発信する>	
	積極的にコミュニケーションを図り、世界の人々と交流を深めようとする態度を身に付ける					
全履修科目	中学英語 I (105)	中学英語 II (105)	中学英語 III (105)	英語 I (3) COM I (2)	英語 II (3) COM II (2)	リーディング (4) COM III (2)
主な学習内容	○ 英語の音声表現、基本的な日常会話 ○ 基本的な文法・文法事項		○ 自分の意思や考えを伝えるための表現 ○ 文型や文法事項、関係詞などの文法事項		○ 論理的な文章構成の仕方や創作 ○ 文法事項や異文化理解や国際交流に関する知識	
主な表現活動	Speech to entertain/inform Self-introduction, Show & Tell		Speech to inform/persuade Discussion, Workshop		Speech to persuade/actuate Debate, Workshop	
身に付けたい能力や態度	[コミュニケーションへの関心・意欲・態度] ○ 英語に慣れ親しみ、自主的に英語学習に取り組もうとする態度 [表現の能力] ○ 日記などで身近なことを適切に表現したり、自分の意思を簡潔に表現したりする能力 [理解の能力] ○ 自然な英語の音声に慣れ、相手の意向や話の要旨を適切に理解する能力		○ 積極的に自己表現したり、異文化をもつ人々とコミュニケーションを図ったりして、実践的に英語の能力を高めようとする態度 ○ 自分の意見や考えを正しく表現したり、相手の意向に適切に応じたり、英語で相手の行動を促したりする能力 ○ 大切な事柄や具体的な内容を正しく伝えられる能力や必要に応じて問いかけたり、確認したりして更に理解を深める能力		○ 英語を通して国際交流を深めながら、地球市民として、積極的に自分や自国のことについて発信していこうとする態度 ○ 情報や大切な内容を正しく伝えたり、目的や情報に応じた適切な表現方法を考えたり表現したりする能力 ○ 洋書やWebページなどを読み、メッセージ、要旨、論点を正しくとらえたり、話の展開や解釈、目的に応じて適切に読みたりすることのできる能力 ○ デイバートやパブリック・スピーチ、パラグラフライティングなどの言語の使用場面や方法に関する知識や国際交流についての理解	
	[言語や文化に対する知識・理解] ○ 言語学習の仕方や英語の音声、外国の生活習慣などに関する知識・理解		○ 考えを伝えたり、相手に依頼したりするなどの言語の働き、自国の文化と外国の文化の相違に関する知識・理解			

○ 選択科目の取り方の例

※全員が学習する科目=網田付

学習ステージ 学 年	基 礎 期		充 実 期		発 展 期	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
文 系	中学英語 I (105) 選択英語 I (35)	中学英語 II (105) 選択英語 II (55)	中学英語 III (105) 選択英語 III (55)	英語 I (3) COM I (2)	英語 II (3) COM II (2)	リーディング (4) COM III (2) 英語セミナー (2) 名作講読 (2)
理 系	中学英語 I (105) 選択英語 I (35)	中学英語 II (105) 選択英語 II (55)	中学英語 III (105) 選択英語 III (55)	英語 I (3) COM I (2)	英語 I (3) COM II (2)	リーディング (4) COM III (2)
英語・外国語の科目を 拡大履修した場合	中学英語 I (105) 選択英語 I (35)	中学英語 II (105) 選択英語 II (55)	中学英語 III (105) 選択英語 III (55)	英語 I (3) COM I (2)	英語 I (3) COM II (2) 英語セミナー (2) 名作講読 (2)	リーディング (4) COM III (2) 英語セミナー (2)
[総合的な学習の時間・行事等との関連]	・PCの使い方 ・コミュニケーションの マナー ・English Camp ・校内スピーチコンテスト ・G・E学年発表会	・PCの使い方 ・コミュニケーションの マナー ・会話の方略 ・English Camp ・校内スピーチコンテスト	・プレゼンテーションソフト ・多様なコミュニケーション 方法 ・会話の方略 ・校内スピーチコンテスト ・イメージング実地研修	・プレゼンテーションソフト ・校内スピーチコンテスト ・English Camp ・海外語学研修 ・イメージング実地研修	・各教科の発表の準備・ 改善 ・映像メディア ・校内スピーチコンテスト ・学年発表会 ・イメージング実地研修	・各教科の発表の準備・ 改善 ・映像メディア ・校内スピーチコンテスト

II-5 英語科

月	題材名	学習方法・家庭学習・テストについて	到達目標
4	英語学習 リエンション ※ ( )内は、 New Comer Phonics	声に出して読む練習を行う。 Newcomer Phonics を中心につづりと発音の関係を学習する。	○ 英語学習の特徴を理解し、1年間の学習に見通しをもつ。 ○ あいさつなど基本的な表現を学習し、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の基礎を身に付ける。
	英語の音に慣れよう Unit 1-2 (Unit 1~4)	英語の自主学習を始める。書くことよりも、教科書の本文をCDで聞いたり、暗唱したりする学習を優先させよう。	○ 基本的な英語の発音の特徴に慣れるとともに、積極的に英語を声に出して表現しようとする姿勢をもつ。
5	先生にインタビュー をしよう Unit 2-3 (Unit 5, 6)	先生のインタビューやその報告活動を通して、伝えたい内容を正しく伝える能力の基礎を身に付ける。	○ 先生へのインタビューやその報告活動を通して、伝えたい内容を正しく伝える能力の基礎を身に付ける。
	会話のマナー：聞き返し、あいづち等の学習	既習表現やこれまでの活動を振り返り、相づちや聞き返しなどの技術に親しむ。	○ 既習表現やこれまでの活動を振り返り、相づちや聞き返しなどの技術に親しむ。
6	Show & Tell 好きな食べ物を紹介しよう Unit 4-5 (Unit 7~)	予習として、新出単語を用いて自分で文を作ってみよう。baseball, soccerなどが教科書に出てきたら他のスポーツを調べてみよう。	○ 自分の好きな食べ物について簡潔に伝えたり、聞き手に好きな食べ物について聞いかけたりできる。 ○ 基礎的な一般動詞やbe動詞などを用いて好きなことやものを簡潔に表現することができる。
	※ フォニクスを活用した学習やウォーム・アップを継続的にを行います。また、この期間は、極力文字による導入をしませんので、しっかりと英語の発音とつづりの関係、発音と意味の関係を学習しましょう。		
7	寸劇を演じよう Unit 5 (これまでの復習)	校内スピーチコンテストの原稿作成を始める。また、教科書本文の音読練習を続けよう。	○ 教科書本文を活用した買物の場面での寸劇を演じることを通して、文の区切りやリズム、イントネーションを正しく用いて、伝えたい内容を簡潔に伝えることができる。
8	身近な人物の紹介 Unit 6 (Unit 8)	第2回実用英語技能検定(英検)に備え、自主学習を積極的に取り入れ、分からないところは質問をする。英検5級(4級)に全員が挑戦しているように。	○ 家族や友人、先生などの身近な人物について紹介したいことを、外国人やALT、他校の生徒に簡潔に伝える能力を高める。 ○ 動詞の-s, -es (三人称単数現在表現) についての文法を正しく理解する。
9	乗り物での行き方を 教えよう Unit 6 (Unit 8)		○ 聞き手を意識して、交通手段や所要時間等の大切な情報を適切に表現したり、分からない内容を聞き返したりすることに慣れる。

月	題材名	学習方法・家庭学習・テストについて	到達目標
10	English Campの 準備をしよう	第2回英語検定	○ 学校行事の準備を通して、実際場面での英語の運用能力を高めるとともに、生活に密着した場面で英語を使おうとする意欲をもつ。
11	English Campの 面白さを伝える Unit 7 Unit 8	辞書などを活用して、興味のある単語をどんどん調べよう。読める単語を増やそう。	○ English Campの思い出について、音声表現を工夫しながら表現する能力を身に付ける。 ○ 友人やEnglish Campの講師の先生方のことを、代名詞を用いて表現することができる。
12	クリスマスとお正月に ついて紹介しよう Unit 9 (Unit 1-8の復習)	自主学習ノートを活用し、自分なりの学習方法や工夫を見つけよう。 英語でクリスマスカードや年賀状を外国人の先生に書いてみよう。	○ 日本と外国の年中行事の違いを理解するとともに、それぞれの特徴を分かりやすく表現することができる。 ○ 現在進行形を用いて身近な事柄を表現する能力を身に付ける。
1	電話で 友人を誘おう Unit 10	第3回英語検定	○ 外出や遊びの誘いなどに応じて、勧誘の表現を適切に選択して表現したり、相手の勧誘に適切に応じたりすることができる。 ○ 会話を継続するために、間をつないだり、相手に問い返したりするなどの会話の技術に慣れる。
	絵はがきを書こう Unit 11	過去形を学習したら、英語で日記をつけてみよう。最初は1行でもいいから続けることが大切です。	○ 自分が行ったことのある場所や行ってみたい場所からの絵はがきを書くことができる。 ○ 不規則変化動詞の過去形に慣れる。
2	"The Hungry Lion" を紹介しよう (9) Reading Plus 2	1年間の英語学習で、継続的に取り組めたことがありますか。音読や、ラジオの英語講座の受講、日記、自主学習など、何か一つ2年生になっても続けられることを見つけよう。	○ 挿絵を用いながら、聞き手を意識して分かりやすく英語で説明することができる。
3	1年間の思い出を 書こう (9)	【1年生のみなさんへ】 みなさんの今年1年のゴールは、この「1年間の思い出を書こう」です。B4版の紙いっぱいに、思い出や自己紹介、家族紹介、好きな物などを書き、1年間の学習の「足跡」を残しましょう。	○ これまでに学習した表現や語句を用いて、好きなことや思い出、家族のことなどを表現することができる。 ○ 英語を用いて自己表現することに意欲的に取り組もうとする態度を身に付ける。

II-5 英語科

月	題材名	学習方法・家庭学習・検定試験などについて	到達目標
4	英語学習 オリエンテーション	2年生は、3年生までの英語学習のヤマ場の一つ。音読や自主学習を継続的に行い、授業を大切にしていけば、表現の幅がグンと広がり、英語の自己表現が楽しくなります。動詞の変化表を活用し、不規則変化を覚えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後の学習の見通しや自己の課題をもつ。</li> <li>○ 自ら学習する姿勢を身に付ける。</li> <li>○ 授業や授業外で積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。</li> </ul>
	春休みの出来事について語り合おう Warm up & Unit 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽しかった出来事や印象に残った事柄について既習表現や動詞の過去形を用いて表現することができる。</li> </ul>
5	モアイ像のナレーションに挑戦しよう Unit 2	過去形や be going to- を用いて日記を書き、過去形を用いた表現を定着させよう。 第1回英検では、全員が4級以上に挑戦できるように準備しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ モアイ像のナレーションや由来の説明を通して、伝えたい内容を正しく伝える能力の基礎を身に付ける。</li> <li>○ show, teach, tell などを用いて相手に依頼する表現や be going to- を身に付ける。</li> </ul>
6	～表現力を高めるために～ これまでの活動の振り返る	第1回英語検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの活動を振り返り、コミュニケーション活動の際の自己の課題を明確にすることができる。</li> <li>○ 会話を継続させる重要性を理解することができる。</li> </ul>
	わたしの夢 ～分かりやすく伝えよう Unit 3	ワークや授業のプリントを用いて不定詞の用法を整理しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の夢や興味のある職業、やってみたい事柄について既習表現や不定詞を用いて表現する能力を身に付ける。</li> <li>○ 不定詞の用法を正しく理解し、簡潔に表現する能力を身に付ける。</li> </ul>

月	題材名	学習方法・家庭学習・検定試験などについて	到達目標
7	“A Magic Box” を読もう Let's Read 1	夏季休業前の家庭学習のポイントは3つ。 ① 自主学習ノート ② ワークブック ③ スピーチコンテストの原稿づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ A Magic Box の音読を通して、強勢や文の区切り、リズムなどの音声表現を用いて、伝えたい内容を適切に伝えることができる。</li> </ul>
8	学校生活のガイドブックをつくろう Unit 4	夏季休業の家庭学習のテーマは1つ。 『自主学習ノートを1冊終わりにする』	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本校の生活の様子やルール、特色を紹介する英語のガイドブックを作成することができる。</li> <li>○ 助動詞の意味や用法を正しく理解することができる。</li> </ul>
9	電話の会話を覚えよう Speaking Plus 2	【前期終了にあたって】 どれだけ自主学習に取り組めたでしょうか。授業で学習するのは、『英語の学習のしかた』。実際に、力を付けていくのは家庭学習です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電話をかける側、受ける側の表現を身につける。</li> <li>○ 取り次ぎをたのむ表現を身につける。</li> </ul>
10	“Cafeteria or classroom” 食事の場所について意見を伝えよう Unit 5	第2回英検、第3回英検のどちらかで全員が3級に挑戦できるように準備を進める。 第2回英語検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な事柄についての意見や理由、情報を具体的に説明することができる。</li> <li>○ 接続詞 when, if, because などの使い方を理解することができる。</li> <li>○ イングリッシュキャンプに参加し、積極的に英語を使う姿勢を身につける。また、今まで授業でインプットしてきた英語をアウトプットすることができる。</li> </ul>
	身体の不調を訴える Speaking Plus 3	English Camp での出来事を日記にまとめ、講師の先生方にお礼の手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 症状を伝えたり、病気の程度を伝えたりする活動を通して、体調を伝えるための表現を身に付ける。</li> <li>○ 日常生活の身近な事柄を英語で表現することができる。</li> </ul>
11	“Try to Be the Only One” を朗読しよう Let's Read 2	“Try to Be the Only One”, Unit 6本文を音読する家庭学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場人物の心情や場面を理解しながら気持ちが表れるように音読することができる。</li> <li>○ コメントの仕方等を身に付ける。</li> </ul>



月	題 材 名	学習方法・家庭学習・検定試験などについて	到達目標
4	英語学習 オリエンテーション	2年生の教科書を最初から最後まで音読してみよう。	○ 充実期の学習の見通しをもつとともに、英語の学習習慣を身に付け、意欲的に学習しようとする姿勢をもつことができる。
	日本の風物を紹介しよう (Unit 1)	英検準2級への挑戦に向けて準備を始めよう。	○ 日本の風物を簡単な英語で表現することができる。 ○ 受動態や make, keep, leave, call, name などを用いて簡潔に表現することができる。
	取材メモを基に、ニュースを伝えよう (Unit 2)	6月中旬の第1回英検では、全員が3級以上に挑戦できるように準備を進める。『自己表現お助けブック』の動詞活用表を覚える。	○ 重要な情報のみが書かれたメモを見ながら、伝えたい内容や具体的な情報を適切にレポートすることができる。 ○ 現在完了の用法を理解することができる。
	プレゼンテーション (アジアの子ども達へ) (Unit 3)	★今年はずっと挑戦！英語科の洋書を借りよう！	○ アジアの開発途上国の子ども達について情報を収集し、英語でプレゼンテーションすることができる。 ○ これまで学習した表現を活用できる。
6	A Mother's Lullaby を朗読しよう (Reading Plus 1)	第1回英語検定 A Mother's Lullabyを何度も音読しよう。Shadowingや Dictationも効果があります。	○ 物語のあらすじやテーマを理解し、イントネーションやアクセントを工夫して、訴えたい内容や大切な情報を適切に朗読することができる。
	英語で留守番電話にメッセージを入れよう (Multi Plus)	★スピーチコンテストの原稿づくりに取り組もう。(自主学习ノートを効果的に活用する。)	○ メモや電話に吹き込まれた伝言を基に、必要な事柄を分かりやすく英語で伝えられる。 ○ 適切な声量と正確なイントネーション、リズム、強勢を用いて英語で発話できる。
7	英語で落語を演じよう (Unit 4)	日米の文化の違いや小話などに関する読み物資料が提供されるので、たくさん読もう。	○ 日米の文化の違いや小話の滑稽さをジェスチャーや音声表現を工夫して英語で伝えることができる。 ○ to不定詞の意味や用法を理解し、正しく用いることができる。
	<b>【目標】</b> 夏休み前に、英語の自主学习ノートを4月から2冊終わりにする。 <b>【夏休み】</b> 過去2年間の反省を生かし、自主学习ノート1冊以上の家庭学習を！		
8	ディスカッション (Cell phonesの功罪について) (Unit 5)	英語の新聞や雑誌の投書、洋書を読み、それについての意見を100語程度にまとめる自主学习に取り組もう。	○ 意見を伝えるのに必要な表現を正しく用いて、英語のディスカッションに参加することができる。 ○ 現在分詞や過去分詞の後置修飾を正しく用いて、200語程度で意見を書くことができる。
9	<b>【前期終了にあたって】</b> 単語集や熟語集を使って、使える単語や表現を増やしていく時期になってきました。3年後期がその後の自己表現の幅を広げる大きなカギとなります。積極的に語いを増やそう。多読も継続！		

10	スキット (即興スキットに挑戦しよう)	第2回英語検定の準備をしよう。積極的に上の級を受験していこう。 第2回英語検定	○ スキットの面白さを味わう。 ○ 場面や状況に応じてその場で英語で対話をする事ができる。 ○ これまで学習した表現や文法の意味や用法を正しく理解することができる。
11	"20 <sup>th</sup> Century Greats" 20世紀の偉人についてレポートにまとめよう (Unit 6)	1月～冬休み前は、Unit 6の学習を通して、1つの大きなプロジェクトに取り組みます。偉人についてのリサーチを行います。	○ これまで学習した表現や文法を駆使して、伝えたい内容や大切な情報を分かりやすく英語で書くことができる。 ○ 英語でレポートを書く活動に意欲的に取り組む姿勢をもつ。 ○ パラグラフや構成を意識して、200語以上(教科書見開きで約2ページ分)のレポートをまとめることができる。 ○ 関係代名詞の意味や用法を正しく理解することができる。
12	[GTECとは?①] 総合的な英語の力を測定する検査です。マーク式と記述式が組み合わされています。リテングもあります。	GTEC (英語能力測定試験)	
1	"Family Rules", "The Fall of Freddie the Leaf" を読み味わおう (Reading Plus 2・3)	冬季休業中の学習のポイントは2つ。 ① 自主学习ノート ② 単語テストの準備 学年統一単語テスト (1月中旬) 第3回英語検定 (1月下旬)	[GTECとは?②] 6年生まで、毎年受験しますので、1年ごとの力の伸びを自分で確認することができます。 ○ 物語のあらすじやテーマを正しく理解することができる。 ○ 原書(洋書)を読むことに関心をもち、意欲的に英語の物語を読もうとする態度を身に付ける。
2	コース別学習 (3年間の学習の復習をしよう)	★第3回英検では、全員が3級合格できるよう頑張りましょう。	○ これまでの既習表現や文法の意味や用法を正しく理解し、それらを用いて身近な事柄について表現することができる。
<b>【コースAの目標】</b> 3年間の教科書本文を全て音読することができる。基本本文を全て正しく書くことができる。(予定) <b>【コースBの目標】</b> "A Mother's Lullaby", "The Fall of Freddie The Leaf", または有名な歌などを正しい発音で暗唱できる。(予定)			
3	Documentary Film "Zero Landmine"を見て、自分の気持ちや意見を伝えよう	この1年間でどれだけ自主学习を頑張ることができましたか。これまで行ってきた自主学习ノートを1冊目から振り返ってみよう。	○ 英語で自分の意見やメッセージ、感じたことを伝える活動に興味をもち、意欲的に取り組むことができる。 ○ 既習表現や文法を駆使しながら、自分の思いを書いて表現することができる。 ○ 伝えたいメッセージを適切なリズムや発音で伝えることができる。
<b>【3年生のみなさんへ】</b> みなさんの今年1年のゴールは、この"Zero Landmine"というボランティア活動を撮影したドキュメンタリーを視聴し、A4版2枚程度の原稿によるスピーチをすることです。1人5分程度のスピーチにどれだけ自分のメッセージが込められるか。この活動に向けて、3年生の全ての学習を積み上げていきます。感動的なビデオと音楽を楽しみにして下さい。			

月	題材名	学習方法・家庭学習・検定試験などについて	到達目標
4	英語学習 オリエンテーション	ポテト・アイスクリームコンテスト(11)	○ 充実期4年の学習の見通しをもつとともに、予習の習慣を身に付け、意欲的に学習しようとする姿勢をもつことができる。
	New Faces, New Places ~予習の仕方を学ぼう~	◎ 予習の仕方を身に付ける。 英検2級・準2級・準1級への挑戦に向けた準備を始める。 ★今年は多読に挑戦! 『目標5冊!』	○ 英語の基本的な文型を理解し、それらを用いて自己表現することができる。 ○ must, have to, learn to, want+人+ to do などを用いて表現することができる。
	When I was sixteen ~音読の仕方を確認しよう~	◎ 音読の意義を見直し、音読を家庭学習に取り入れる。	○ 現在完了やto不定詞、動名詞などの既習事項を用いて日記やエッセーを書くことができる。 ○ 教科書本文の意味を理解して正しく音読することができる。
	Abu Simbel ~レポートの方法を学ぼう~	◆ GTECの準備 (目標: 前回スコア+40点) ◆ 英検は全員が挑戦 (2級・準1級に積極的に)	○ 世界遺産について、伝えたい内容や具体的な情報を適切にレポートすることができる。 ○ 現在分詞と動名詞の違いや関係代名詞の用法を理解し正しく表現することができる。
5	Research Punana Leo ~A voice of Hawaii~ ~言語の多様性について考える~	GTEC for Students (5月末) 前期中間考査 (5.29-31) 第1回英語検定 (6.8-10)	○ 言語に関するトピックについてリサーチを行い、自分なりの考えや意見をもち、聞き手に分かりやすく伝えることができる。 ○ 第5文型の文を用いて表現できる。
	Diving into Mystery ~スピーチ原稿の作り方を学ぼう~	【シス単6月末: 458番】 ◎ Brain stormingやMind map等を用いた原稿作りを身に付ける。 ◆ Speech Contest 学級予選の準備を進める。	○ 海底文明についての概要を理解する。 ○ 関係代名詞と関係副詞の違いを理解するとともにそれらを用いて表現できる。 ○ スピーチ原稿の下書きができる。
	課題自主学習 ~自己の課題を解決するための学習に取り組む~	前期末考査 (7.4-6) ◆ E.C.C.1, Forestを用いて校外模試の準備を進める。	○ 日米の文化の違いや小話の滑稽さをジェスチャーや音声表現を工夫して英語で伝えることができる。 ○ to不定詞の意味や用法を理解し、正しく用いることができる。
6	校外模試 (7.14)		
	【目標】 ①夏休み前に、英語の自主学習ノートを1冊終わりにする。②Forestを活用する。③E.C.C.1を終える。 【課題】 夏季補習の復習+自主学習ノート1冊以上の家庭学習を! 洋書を1冊以上読み終える。		
7	Living with Chimpanzees ~意見や感想を伝えよう~	【シス単8月末: 600番】 ※ 第1章 Basic Stage 終了! 校外模試 (8.25) 第4回 Spelling Contest (9.4)	○ チンパンジーの生態や地球の動物の危機的状況に関する英文を読み、英語で200語程度の意見や感想を書いて伝えることができる。 ○ 分詞構文や形式主語の用法を正しく理解し、それらを用いて簡潔に表現できる。
8	【前期終了にあたって】 前期の英語学習の方法、成果について自己評価を行い、後期の自己の課題を明確にしよう。あと半年で授業・教科書・Forest・シス単・E.C.C.・洋書・補習。自律的・積極的な学習スタイルを身に付けましょう。		

10	Show&Tell Not So Long Ago ~写真1枚で伝える~ (Lesson 7)	【シス単9月末:600番までの復習】 ◆英検準2級以上100% 2級以上 30%を目指す。 第2回英語検定 (10.19-21)	○ 印象に残る写真1枚を基に、200語程度でShow&Tellを行うことができる。 ○ 仮定法・第4文型の復習を行い、それらを正しく用いて自己表現をすることができる。 ○ 付帯状況のwithの用法を正しく理解する。
	Good Ol' Charlie Brown ~要旨のまとめ方を学ぼう~ (Lesson 8)	校外模試 (11.3) ◎ 教科書全体の復習として、Lesson 1から全文音読する。 ◆ GTECの準備を進める。	○ これまで学習した表現や文法を駆使して、大切な情報を分かりやすくまとめ、英語で伝えることができる。 ○ No matter howなどの譲歩節の用法を正しく理解するとともに、仮定法やbe to doを用いて自己表現することができる。
11	Storytelling The Green Door ~物語の情景を伝える~	後期中間考査 (11.27-29) GTEC for Students (12月) 【目標: 昨年の自分を超える】 昨年の学年平均スコア: 519 昨年の自分のスコア: ( )	○ 物語の場面や登場人物の心情が伝わるよう、文の区切りや強勢、イントネーションなどの音声表現を工夫して朗読することができる。 ○ 既習の文法事項の意味や用法を正しく理解することができる。
	Looking at Things, East and West ~文化の相違点を読み取ろう~	【シス単11月末: 702番】 ◆ これまでの模擬試験結果を踏まえ、自己の苦手分野や課題を克服し、模試に備える。 ◎ 授業の予復習の在り方を再確認する。 校外模試 (12.22)	○ 西洋と東洋のグルーピングの違い、異文化間の考え方の相違を教科書本文から読み取ったり英語で例示したりすることができる。 ○ 関係詞の非制限用法の意味や用法を正しく理解することができる。
12	Dreamtime ~Aboriginal paintingの特徴を説明しよう~	【シス単12月末: 751番】 ◆ 冬季休業中の学習のポイント ① Forest ② 自主学習ノート ③ シス単796番まで (スプリングコンテストの準備)	○ Aboriginal paintingの特徴を教科書本文から読み取るとともに、気に入った絵を英語で説明することができる。 ○ 分詞構文の意味や用法を正しく理解するとともに、自己表現に用いることができる。
	Crossing the Borders ~国境なき医師団の活動を知らう~	【充実期最後の受験】 ◆ 英検2級・準1級に積極的に挑戦しよう。 第5回 Spelling Contest (1.9) 第3回英語検定 (1.25-27) 校外模試 (2.9) 【充実期最後の受験】 ◆ 本年度の学習の総決算です。 【シス単2月末: 854番】	○ 国境なき医師団の活動に関する英文を読む活動に関心をもち、意欲的に英文を読むことができる。 ○ 登場人物の立場に立って、仮定法などを用いて自分の意見や決断を英語で伝えることができる。 ○ 強調構文の用法を正しく理解できる。
1	Think globally, Act locally 「今自分のできること」を伝えよう	後期末考査 (3.4-6) ◎ 充実期の取組を振り返り、自己評価を行う。発展期の課題や目標を明確にする。 【シス単春季休業明け: 1052番】	○ 世界の諸問題に関する課題追究学習に意欲的に取り組むことができる。 ○ 相手を説得したり、提言したりするプレゼンを行うことができる。 ○ 発展期の英語学習への意欲や自己の課題をもつことができる。
	【4年生のみなさんへ】 みなさんの今年1年のゴールは、興味や関心に応じて、世界の諸問題に関する課題追究を行います。そして、その結果をワークショップの形で他の生徒の皆さんに伝えるとともに、「今自分(たち)にできること」を提言してもらいます。"Speech to persuade/inform"が充実期のゴールですから、1班10分程度のプレゼンにどれだけ自分のメッセージが込められるか。この活動に向けて、4年生の全ての学習を積み上げていきます。グループで協力しながら楽しく学習を進めます。		

II-5-(2) 外国語科 (イングリッシュ・コミュニケーション)

月	活動ステージ (時数:45分) と活動目標	主な学習活動
5	「喜び」「残念」「感謝」「祝福」の表現 ○喜怒哀楽の感情を表したり、相手の気持ちに共感したりする表現を適切な場面で使える。 ○ユーモアを交えて大げさに表現する	○場面を設定しての会話練習 ・ 昨晚電話をしてくれて ・ 車で家まで送ってくれて ・ 君の母親が入院している ・ 試験に合格した相手に対して
	「計画・予定」「勧誘」「招待」の表現 ○日々の行事やプランを正確に伝えたり、書き表したりする表現を場面に応じて使える。	○場面を設定しての会話練習 ・ 明日野球の試合を観戦する ・ 友達をピクニックに誘う ・ 来週の土曜日の計画を立てる
6	「提案・忠告」「義務・必要」を表す表現 ○定型表現をうまく使い、悩んでいる人に対して適切な提案、忠告、解決策を与えたり、義務を示したりする表現を会話として自然に使えるようにする。 ○親しい関係で直接本音を言い合うときの表現を学習する。	○健全な批判「サンドイッチ戦略」の応用 ・ 相手を批判しなければならない場面を設定し、相手に対して失礼なく批判するテクニックを学習する。 ・ 問題が発生したときに新しいアイデアを提案する
	Main language の確認①	確認テスト①
	「依頼」「謝罪」「断り」の表現 ○相手に対して失礼のない依頼や謝罪、断りの定型表現を理解し、自然な会話として使えることができる。 ○自分の失敗 (過ち) を認めたり、相手を強く非難したりする表現も学習する	○Pole play making requests with your partner. ・ 同僚が仕事中に無駄話をしてくる ・ 返信が遅れてしまった ・ 自分の自転車を友達に貸せない ・ ソファの上に置いてあった眼鏡を踏んで壊してしまった。
7	「許可」「禁止」「確認」の表現 ○相手に対して如才なく禁止したり、愛想よく振る舞ったりする言葉遣いを学習し、自然な会話として使えることができる。 ○ 誤解や聞き間違いを避けるために説明を中断して確認をとる表現技法を学習する。	○場面を設定しての会話練習 ・ 図書館で騒いでいる他校の生徒に ・ 来週の約束を取り消したい ・ 外国に留学したいが、... ・ 電話で予約をする。
	「確実性」「不確実性」「疑い」を表す表現 「予測」「期待」「願望」を表す表現 ○確信していること、確実な事実、不確実な事象、予測、期待、願望などを表す表現を理解し、自然な会話として使うことができる	○ 想像的な文章を作る。 ・ 未来の社会について ・ 昨日 UFOを見た。 ・ 誇張表現、誇大表現の広告を疑う
8 9		

双方向コミュニケーションテクニック

月	活動ステージ (時数:45分) と活動目標	主な学習活動
10	「賛成」「反対」の表現 ○身近な話題について討論を行う。討論をゲーム的なものとして、これに関する Main languages を意図的に使えるようにする。 Ex: What are the good and bad points of watching TV?	○ 討論ゲームをする ・ 高校生のアルバイト ・ 年功序列制 ・ 英語の早期教育は必要だ
	Main language の確認②	確認テスト②
11	時間的順序 ○物語文、伝記、紀行文、歴史記述などの表現技法を学習する。この展開法では必ずしも主題文を必要としないことを理解する。	○ ポスターセッションを行う ・ 近代オリンピックの歴史 ・ 朝顔の観察日記 ・ 有名人の伝記 ・ 私の日曜日
	「例証」 ○主題文で述べた内容について、事実、数字、エピソードなどの具体例を交えて、文字や話し言葉で説明できる	○ トピックセンテンス・サポートセンテンスを意識して、文章を書く ・ リサイクル時代について考える。 ・ 温暖化防止について
12	「比較」「対照」 ○2つ以上もものをいくつかの点で比べ、類似点と相違点を挙げて説明できる。	○ 段落を意識して文章を書き、スピーチをする。 ・ 西洋文化と日本文化の異なる習慣 ・ オーストラリアとニュージーランド
	「原因」「結果」 ○ ある減少の因果関係を説明するための展開方法を学習する。「原因→結果」の順に展開する文章と「結果←原因」の順に展開する文章を分析できる。	○ 事実を示すポスターを作成し、それを示しながらスピーチをする。 ・ 交通事故の原因 ・ 熱帯雨林を救おう
1	Main language の確認③	確認テスト②
	「要約文作成 (summary)」 ○課題文を読み、指定された語数に要約する練習を行う。	○ まとめの学習 ・ 課題研究小論文の作成
2	「小論文作成 (essay/thesis)」 ○今まで学習した技法を用いて小論文を作成する。	
3		

パラグラフライティングの基礎